

科目 生物分子科学演習Ⅱ（2016年度以降入学生用） (Exercise in Biomolecular Science II)

担当教員 渡辺 直子、藤崎 真吾、岸本 利彦、曾根 雅紀、古倉 健嗣、大谷 真志、内田 朗、古田 寿昭、渡邊 総一郎、細井 晴子、後藤 勝、杉本 雅純、佐藤 浩之、永田 喜三郎、塚田 岳大、上野 太郎

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

卒業研究・特別問題研究遂行のために必要な文献や関連した文献を読んで紹介、解説を行い、また研究テーマの成果について発表、議論を行う。

＜教育目標＞

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ
- (3) 他者と協力して課題を解決する力をもつ

＜具体的な項目＞

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)
根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)
常に問題を科学的に分析・解釈しようとし、そのための科学的探究を試みる態度 (1)
問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力 (2)
コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力 (3)
問題解決のために積極的に他者と協働する態度 (3)
科学的倫理をわきまえていること (3)

【2】 授業計画

週1回、研究グループごとに決められた日時に行う。

文献の講読や、実験報告およびディスカッション等を中心に行う（担当教員の指示）

【3】 到達目標

卒業研究・特別問題研究に必要な基礎および関連する分野の幅広い知識を習得し、実験に応用できる。発表、議論を通して、論理力、理解力を養う。

【4】 授業概要

担当教員の指示に従い、各研究グループごとに行う。文献の講読や、実験報告およびディスカッション等が中心となる。

【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

プレゼンテーション用の資料を作成して発表に備える。文献講読の発表の場合は、関連論文も読んで実験の背景も理解する。毎回 90分の予習・復習を必要とする。

【6】 教科書・参考書・参考資料

担当者の指示による。

【7】 評価方法およびフィードバック

文献発表における文献の理解度または実験報告における課題の達成度（40%）、発表時の資料作成など準備度（30%）や質疑応答など参加態度（30%）で評価する。実験報告や文献発表に対して講評を行う。

【8】 オフィスアワー

担当者による。各教員のシラバスを参照。

【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

卒業研究 特別問題研究 生物分子科学演習Ⅰ（2016年度以降入学生用）

〔この科目に続く内容の科目〕

生物分子科学演習Ⅲ（2016年度以降入学生用）

【10】 その他

3年次までの取得単位数不足のため卒業研究・特別問題研究履修が認められない場合でも、生物分子科学演習の履修を認めることがあるので、担当者に相談すること。